

未来に直結！自分らしさが生きる新たな入試方式

なぜ変える？どう変わる？現場の先生に突撃インタビュー！

次年度、2026年度入学試験より都市大付属の入試制度が大きく変わります！
その全容を知るべく新聞委員が広報部主任の田中望先生にインタビューしてきました！

インタビュー
田中 望先生(学校広報G代表)

Q1 新たな入試制度概要について教えてください！

田中先生:これまでII類2クラスI類4クラスで中学入学時からコースを分けて募集をしていましたが、今年度からはコース制度を解消し、6クラス均等のクラス分けを行います！また、2月1日午後の第2回入試にて、算国受験のほかに算理受験が選択可能になるなど、入試制度が大きく変化します。

Q2 コース制度廃止を決めた理由を教えてください！

田中先生:近年の子供たちの様子を見ると、中1の段階でコースを分けず、目先の成績を過度に意識しないように、中3になるまでは同じ授業を受けて、学校行事や部活動を含めた学習を全力で楽しんでもらいたいと考えたのが理由です。中3からは大学受験に向けて習熟度別のクラス分けを行うことを検討しています。

Q3 算数理科入試の導入を決めた意図はなんですか？

田中先生:もともと都市大付属は40年以上にわたり、科学実験をやってきていて、科学的な知見を高める教育に特徴があります。算国のみだと国語のウェイトが大きく、算数が得意でも国語が不得意だという理由で、実力が発揮できない子が相当数いるのではと考えました。

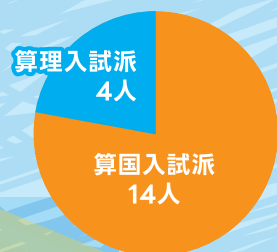
Q4 最後に、受験生へ一言！

田中先生:都市大付属の入試制度は大きく変わりますが、これまで大事にしてきたことが変わるのはなく、都市大付属がこれまで築いたことをより強くするためのものです。ぜひ一度学校に足を運んでください。そして学校説明会や柏苑祭では新聞委員会ブースなどで、生徒に相談してみてください！

生徒の声

新聞委員に聞いてみた！

もしキミが小6のとき算国入試(従来通り)と算理入試(新入試)どちらを選択した？



算国派

- 帰国子女で理社を勉強していなかったからです。
- 自分は算数のマイナスな部分を国語でカバーしていたので、国語がなくなったら厳しいなと思ったからです。
- どの学校にも通用する受け方だからです。

算理派

- 理科が得意科目だからです。
- 自分は国語がとても苦手で、国語以外は80~90点くらい取れていたからです。

EVENTS INFORMATION ※詳細は学校ホームページで発表いたします

学校説明会&帰国生説明会

8/30(土) 10:00▶12:30

要予約

ミニ説明会

9/6(土) 9/13(土) 10:00▶11:30

要予約

柏苑祭

【文化祭】

9/27(土)28(日) 10:00▶16:00

LINE
公式アカウント

※各種イベントは、状況により変更となることがあります。最新情報は学校ホームページ(<https://www.tcu-jsh.ed.jp>)をご確認ください。

東京都市大学
付属中学校・高等学校

小田急線 成城学園前駅より徒歩10分
東急田園都市線 二子玉川駅よりバス20分
東京都世田谷区成城1丁目13番1号
TEL 03-3415-0104 FAX 03-3749-0265
お問い合わせはこちら info@tcu-jsh.ed.jp



学校ホームページは
こちらから



T-Scope

トシコー生のリアルを発信する
情報マガジン

vol.30

東京都市大学 付属中学校・高等学校
TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

編集:生徒会新聞委員会
2025.07.16発行

The Unsung Heroes of Our School

トシコーを支える 委員会ダイアリー





新聞委員会 トシコーの情報を担う “生徒発信”の広報！

Q T-Scopeのテーマはどのように決めていますか？

A 委員会の幹部と発行を手伝ってくれる業者さんと編集会議を行い、受験生に興味を持ってもらえるような特集を選んでいきます。



Q 委員会の裏話がありますか？

A 実は2～3週間に1回くらいのペースで、幹部を誘ってカラオケに遊びに行くこともあって、プライベートでも仲の良い委員会です！

新聞委員からのコメント

昨年、今年と新聞委員として活動していましたが、これまで知らなかった意外な情報がたくさんあってびっくりしました。今まで出てきた記事のテーマも、いろいろ考えられて採用されたものなんだと改めて感心しました。



インタビュー

高校新聞委員長 青山 紀

中学新聞委員長 小林 晴

校内生徒に向けて生徒会などを紹介する「T-times」や、校外の受験生に向けた生徒目線の広報誌の「T-Scope」の発行をしています。



The Unsung Heroes of Our School

トシコーを支える



環境委員会 “きれい”を守る、僕たちのしごと



主に3つの仕事があります。1つ目が学校周辺の落ち葉拾い、2つ目が学期末に行われる大掃除の監督、そして最後が柏苑祭でのごみの管理です。

Q 普段意識している点や委員会の魅力を教えてください！

A 普段から汚れている箇所が気になったり、普段の掃除への責任感が芽生えたりしました。

新聞委員からのコメント

知らないところで学校をきれいに保ち続けるための活動をしていることを知ることができ、良い機会になりました。普段あまり関わることのない委員会でしたが、とても親近感が湧きました。



視聴覚委員会 放送機材の エキスパート！

日々の昼休みの音楽放送、柏苑祭や体育祭などのイベント時のBGM管理、運営からの連絡事項を伝達するなどの活動を行っています。

新聞委員からのコメント

昼の音楽放送では、教室中が盛り上がることも多くトシコーの名物の1つになっています！

昼休みの音楽放送も聴こえやすいように気を配り、リクエスト制なども取り入れようとしていて生徒にとっても重要な委員会だと思いました。



インタビュー 高校視聴覚委員長 萱野 皓



図書委員会 図書室をより快適に



Q 普段意識している点や委員会の魅力を教えてください！

A 書架整理を定期的に行うことで、常に図書室が整理整頓されている状態を意識しています。今年からはポップを各教室に展示することで、より多くの人へ新刊に触れてもらえるように意識しています。

新聞委員からのコメント

図書委員長としてやるべき仕事をやるために、自覚を持って取り組んでいるのがインタビューを通じて伝わりました。



インタビュー 高校図書委員長 村田 大樹 中学図書委員長 川口 蓮

書架整理と図書委員のおすすめ本のポップ作りです。



委員会ダイアリー



生活委員会 生徒の規律ある生活のために



生徒が規律ある生活を送ることができるよう、さまざまな啓発ポスターなど皆に呼びかけています。また、非日常の空気に包まれる柏苑祭などのイベント時は、普段は規則を守れている生徒も気が緩みがちなので、巡回も欠かせません。

Q 普段意識している点や委員会の魅力を教えてください！

A 生徒にルールを強いないように意識しています。中学・高校は人生の中でも大切な青春の時期です。そのために、皆さんにはある程度の規則を自主的に守ったうえで学校生活を楽しんでもらいたいと考えています。また皆さんの生活の模範になるように、僕たちも意識しています。

新聞委員からのコメント

僕自身もあまり生活委員会の活動内容を理解していなかったのですが、今回のインタビューでさまざまな活動について知ることができました。またインタビューの際も、委員長お二方にとても優しく対応していただきました！



インタビュー 高校生活委員長 馬渡 優太 中生活委員長 岩上 武央



Q 普段意識している点や委員会の魅力を教えてください！

A 意識していることは、聴こえやすい音量に調整することに加え、ミスなくスムーズに放送することです。また、この仕事の魅力は放送機材に触れることができる点です。特に柏苑祭では、放送する区域の切り替えなどの複雑な操作もあって、とてもやりがいがあります。

委員長同士の雑談にて、実は音楽放送のチャイムの音は小さな鉄琴を鳴らしているのがいました。機材を扱うハイクな委員会と思いきや、意外にもアナログなところもあるのが印象的でした！

中学視聴覚委員長 岩城 瑛士

